

憧れの仕事カタログ

自分の将来像を描いてみよう

職業へのアプローチには2つの方向性があります。教師、弁護士、医者など、特定の仕事のイメージに自分の将来像を重ねるやり方がひとつ。もうひとつは、環境問題に貢献したい、心理学への興味を仕事に生かしたいというように、ある分野での活躍を目標とするやり方で、仕事そのものにはいろいろなカタチがあります。

ここでは形式にとらわれず、ランダムに、いま学生の間で注目されている仕事を取り上げてみました。まずはこのカタログから自分の未来を探してみてもいいでしょう。もちろんこれがすべてではありません。ほかにもたくさんの仕事がありますので、ぜひ家庭でも探してみてください。

● システムエンジニア

コンピューターを用いて、事業を効率化、省力化したり、新たな商品を開発するための設計と制作を行う仕事。ハードに重点のある理系分野と、事務や経営等への利用を主体とする文系の分野がある。

● 政治家

ニュースなどで報道されるイメージがよくないらしく、中高生には最も人気のない職種だが、最近では地方議会などで20代、30代の若い議員の参入が増えてきた。

⇒政治学科など

● 環境テクノロジー

環境問題の解決や人間生活の改善に貢献するテクノロジーを追い求める。内容は多種多彩で、大学の関連学部もたくさんある。

⇒理系学部全般

● 福祉・介護関連

乳幼児から高齢者まで、社会的な援助を必要としている人を手伝ったり助けたりする。対象の違いなどによって様々な資格がある。今後ますます多くの人材が必要な分野である。

⇒福祉系の学部

● コメディカル（医療専門スタッフ）

看護師、臨床検査技師、理学療法士、診療放射線技師など、医師以外の医療専門スタッフのこと。医学の進歩、チーム医療の発展で、より高度な知識と技量が求められるようになっている。

⇒看護学系・保健学系の学部

● 貿易関係

ビジネスの世界では英語が最もよく使われているが、最近では中国の経済が拡大したため中国語の必要性も高まってきた。語学力が生かせる局面が多い。

⇒経済学部・語学系の学部

● パイロット

パイロットは厳しい訓練の後にも現役生活の間は節制と勉強の続く仕事。しかし、空を飛ぶ快感は何物にも替えがたい（らしい）。

⇒航空大学校など

● 新聞記者

日夜、世の中で起きるさまざまなことを取材し、そして書く。映像系のメディアが発達しても報道の最前線、記者の仕事の重要性は変わらない。

⇒文系学部全般

● 弁護士・検事・判事

立場はちがうがどれも法廷を仕事場とする職業。3つ合わせて法曹という。法科大学院から司法修習生というルートはみな同じだ。昔に比べると門戸は広がった。

⇒法学部

● 環境関連(文系)

取り扱うスケールや内容に応じて、学問の構成もさまざまなら、活躍の場も公的機関から多彩な民間企業と幅広い。大学HPなどで興味を持てる分野を見つけることから始めよう。

⇒環境政策学部・環境情報学部など

● 宇宙開発

宇宙航空研究開発機構（JAXA）は、今後有人機による月面基地開発などを計画している。理系の若者が才能を発揮するのはこの分野かもしれない。

⇒工学系学部のほか、航空宇宙学科など

● 金融関係

銀行や証券会社など、社会の潤滑油であるお金を動かすプロとしての仕事である。基本的には、投資者（預金者）を募って集まったお金を必要としている部門に投資して利益をあげる。

⇒経済学部・経営学部など

● スポーツビジネス

スポーツはいまや世界標準の文化として、最も注目されるビジネスの一分野となった。

⇒スポーツ系(経営・ビジネス)の学部

● アーティスト

個人の資質に深く関わる分野なので、ルートはいろいろだが、一般的には芸大や音大・美大などをめざす。

⇒芸大・美大・音大

● ゲームクリエイター

実際には、シナリオ、プログラム、グラフィック、サウンドなどの担当者が共同作業で制作する仕事なので、ゲームが好きだけでなく、センスが必要とされる。

⇒工学系の学部など

● 大学教授

文系・理系を問わず、大学、大学院（博士課程）と9年間の養成期間がある。知的職業の代名詞だが、修業時代が長く持続力が必要だ。

● 編集者

著者だけでは本は作れない。社会にどんな本や雑誌を送り出すべきかを企画し、その制作段階のすべてにかかわる編集者が出版文化を支えている。

⇒文系学部全般

● 建築

ゼネコンなら施工の管理、設計事務所なら注文設計、住宅メーカーなら設計～施工までの全体が仕事になる。建築士等の資格が必要な場合もある。

⇒建築・土木系の学部

● 放送関係

普段の生活でなじみの深いテレビなどのコンテンツを制作する。また、それらをもとにビジネスを展開していく仕事だ。

● 薬剤師(薬学関係)

病院や薬局での調剤がおなじみだが、製薬会社での研究・開発、国家機関での認可や監視などの職種もある。文字通り、薬に関するあらゆる段階に関わる仕事だ。

⇒薬学部

● 情報・通信

携帯電話の急速な一般化など、爆発的な成長を見せている分野。利便性の向上や拡大に直接関わる仕事や、ソフトの制作を担当する仕事など、理系・文系を問わず幅広い人材が求められている。

● キュレーター(学芸員)

美術館や博物館などで、コレクションの収集と管理、展示などに携わる専門職。最近ではインディペンデントキュレーターと称し、企画プロデュースのみを行う人もいる。

⇒美術系・人文系の学部など

● キャビンアテンダント

キャビンアテンダントはいわずと知れた女性の人気職種。英語力を磨いて、採用試験のためのスクールに通うのが一般的。

⇒語学系の学部など

● 教師

中学生にとって一番身近な職業といえば、学校の先生。説明するまでもないだろう。それだけに、「なりたい職業」でも「なりたくない職業」でもトップ3に入る。

⇒教育学部または各学部教育課程履修

● 公認会計士

企業の会計処理が適性に行われているかどうかをチェックする監査を行う。数ある資格の中でも最難関クラスである。

⇒経済学部・商学部・経営学部など

● 臨床心理士

さまざまな悩みをもつ人をカウンセリングなどを通じて援助していく仕事。精神的には大変だがやりがいもある。精神科等の医療施設、児童相談所、学校などが職場になる。

⇒心理学科

● 国家公務員

公務員試験を突破し、かつ省庁に就職活動を行って採用に至る。人気職種だが、キャリア組として責任ある地位をめざす人は激務を覚悟しなければならない。

⇒文系学部全般

● バイオニクス

中学の理科でいえば第一分野と第二分野を融合した新しい分野。バイオテクノロジー、医療、環境対策など多彩な展開が始まっているが、まだまだそれは可能性の一部にすぎない。

⇒応用生物化学・物質化学・生物工学系の学部など

● ロボット開発

建設や宇宙空間での作業、介助や家事労働、救助や消火、そしてアイボのような愛玩など、多彩な実用に向けて急ピッチで進む研究に加わることができる。

⇒工学部系の学部

● 医師・歯科医師

大学受験の段階では最難関の職業コース。大学で6年、さらにインターンとして研修を積んだ後、厳しくも人の幸福に直接関わる仕事が待っている。

⇒医学部・歯学部

● 国際機関スタッフ

国連関係などのさまざまな機関での仕事。なんらかの高度な専門知識と語学力を併せ持つことがこの仕事に就く条件である。